



3 13 親切を児童生徒へ繋ぐ ブーゲンビリアより学習ノート贈呈式



市教育委員会にて音訳朗読ボランティア団体ブーゲンビリアより、市内児童生徒のために役立ててほしいと学習ノート100冊の贈呈がありました。ブーゲンビリアの大山ゆき子代表は「自分が受けた親切を次の方に繋ぎ、その方がまたほかの方へと親切を繋いでく、ホスピタリティの精神を多くの方が受け継いでいってくれることを願っております」と思いを語りました。

3 15 宜野湾市の素晴らしい地域の力 令和4年度地域支え合い活動委員会報告会



社会福祉センターにて「令和4年度地域支え合い活動委員会報告会」が開催されました。この報告会は、誰もが役割を持って地域の中で輝ける宜野湾市の実現に向けて、地域の取り組みを共有することを目的としており、今年度は、野嵩3区、真志喜区、上大謝名区の3区より実践報告を行いました。野嵩3区では公民館の敷地に畑をつくり、その畑を活用した「世代や属性を超えた居場所づくり」の報告を行いました。

3 24 日本で一番早い夏の大花火! 琉球海炎祭チケット贈呈式



琉球海炎祭実行委員会の関係者が市役所を訪れ、4/15(土)に宜野湾海浜公園にて開催される「JAL PRESENTS 第20回琉球海炎祭」のチケットを宜野湾市へ贈呈しました。長堂昌太郎実行委員長は「20回目の節目を迎えるにあたり、ぜひ市民の皆さまに会場にいただき、当日の祭りを盛り上げていただきたいです」とあいさつしました。ご提供いただいたチケットは、「宜野湾市母子寡婦福祉会」を通して市内のひとり親家族の皆様へお届けしました。

3 14 温かいご寄附ありがとうございます 浦添宜野湾電気工事業協同組合より寄附金贈呈



浦添宜野湾電気工事業協同組合(山城克己理事長)から市育英会へ寄附金15万円が贈呈されました。同組合は、昨年にも育英会に寄付と志真志小学校へフラフープを30個寄贈しております。山城理事長は、「これまでも、老人センター等に寄附を行ってきました。今後も教育現場や福祉行政に寄与できるよう、継続して社会貢献をしていきたいです」と語りました。

3 22 大好きなマグロで楽しく食育! まぐろ解体祭りが開催されました



宜野湾保育所では、日ごろから、園内菜園での野菜栽培など、園児が楽しく学べる食育に取り組んでいます。今回、更なる食育の取組みとして、保護者の皆さんとの話の中から、園児の皆さんに人気のある「お寿司」に着想を得た「まぐろ解体祭り」が開催されました。祭りを通してまぐろの生態にふれるなど、園児の皆さんも親しみやすく、終始夢中で楽しみました。

3 28 健康と市の発展に貢献 アルコールハンドジェル寄贈式



株式会社リスマプラン(田崎博剛代表取締役)、東亜貿易株式会社(上原大幸代表取締役)、屋号ライフセンス(具志堅守代表取締役)が市役所を訪れ、アルコールハンドジェル4,536本を寄贈しました。自治体の活力ある地域社会構築と健康に寄与したく、寄贈の運びとなりました。寄贈されたアルコールジェルは、市内公共施設等に配布され、感染症対策等に活用されます。

3 1 世界を通して、伝統や文化を伝え合う FIBAワールドカップ 世界との交流事業



普天間小学校の5年2組、5年3組を対象に、国際交流プログラム事業「MEET THE WORLD」が実施されました。この事業は、フィリピン・インドネシア・日本(沖縄)にて開催される、「FIBA バスケットボールワールドカップ2023」に向けて、子供たちを対象としたプロジェクトの一環としてあります。普天間小学校とインドネシアの子供たちは、お互いの伝統文化を披露して、交流を深めました。

3 3 SDGsで地域支援に貢献 もったいない市報告 & 食料品寄贈式



JAおきなわ宜野湾支店の関係者が市役所を訪れ「第2回もったいない市」の報告と食料品の寄贈を行いました。会場には、衣類や文具、学用品など無償で提供された物資が集められ、当日は445人が来場し大盛況となりました。米須清宜野湾支店長は「身近なことからSDGsを通して地域に貢献できれば幸いです。今後も市と協働して取り組んでいきたいと思っております」とあいさつしました。

3 8 ミモザの花へ感謝をこめて 3月8日は国際女性デー!!



3月8日は1975年に国連で定めた「国際女性デー」です。この日に合わせて、宜野湾市商工会女性部が市役所正面玄関前にて、シンボルフラワーのミモザが描かれたトートバッグやイメージカラーの黄色の花束の配布、国際女性デーのPR活動が行われました。津嘉山由美子部長は「女性が生き生きと暮らし、子育てしやすく、働きやすい地域づくりを目指して活動を続けていきたいです」と話しました。

3 2 友情を深め、健全で豊かな心身の育成を願って 近県小学生ハンドボール大会出場報告



普天間第二小学校の前徳流太さんが市役所を訪れ、「うどんカップ近県小学生ハンドボール大会」出場報告をおこないました。前徳さんは「中頭地区大会では、準優勝という悔しい結果に終わりましたが、うどんカップではその気持ちを晴らせるように、素晴らしいプレーを観客の皆さんに披露できるように頑張ります」と意気込みを語りました。

3 6 目標こそが、その日その日に命を与える! 横浜市中区交流大会派遣報告



宜野湾ベースボールキッズが市役所を訪れ、第32回横浜DeNAベイスターズ旗争奪少年野球大会優勝の報告および横浜市中区交流大会への派遣を報告しました。宮里晃生選手は「監督やコーチ、いつも応援してくれ、協力していただいた皆さんのおかげで優勝することができました。交流大会では一生懸命に、楽しみながら戦ってきます。応援よろしく申し上げます」と感謝と意気込みを語りました。

3 10 「アメリカで沖縄の未来を考える」 TOFUプログラム激励式



市役所にて2022年度TOFUプログラム激励式が実施されました。当プログラムは、外務省が主催するカケハシプロジェクトの一環として、沖縄の将来を担う高校生・大学生をアメリカに派遣し、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としています。松川市長は「現地で文化にふれ、初めて学ぶことも多いと思います。6泊8日の滞在の中で、楽しんで沖縄の魅力を発信してきてください」と激励しました。